暮らせる商店街(まち)
—徳島市中心市街地における街路および建築空間の再構築と利活用提案—

都市空間生成研究室
2141154　　三浦 栞奈

徳島市　　商店街　　暮らし
低未利用地　　個性　　ひらく

1. 研究の背景と目的

地方都市における都市課題の深刻化に対してまちづくり需要は年々増え続けており、徳島市も空洞化が進み、かつて商業の中心であった中心市街地の商店街は賑わいを失った。シャッター街となった商店街にはマイナス面だけでなく「文化的な価値の再発見の場」や「空き店舗活用による新たな試み」などのポテンシャルが存在する。しかし、隣接する区域での再開発計画[*1]により空洞化の加速が懸念される。よって、商店街は衰退した商業だけではなく個性ある地域の再生拠点として活用が求められる。

本研究は、衰退した徳島市の中心市街地に位置する商店街を対象とし、低未利用地や空き店舗等の利活用・街路や建築空間の再設計を行うことにより、商店街の新しい在り方を提案することを目的とする。

2. 徳島市の現状ともう一つの背景の存在

都市課題が多い徳島市だが、現在の取組みでは、表立った再開発計画に特化し、空間更新の規模が大きすぎるが故に長期化し迷走している。しかし、ハードでの空間更新ではなく、地域の暮らしの背景や文脈に目を向けることで実際的なアプローチができるのではないか。都心部をはじめ他地域では、駅を拠点としニッチな人々が主役となり活動する界隈拠点が各地に形成されているが、徳島には、少数派が受け入れられる環境が少なく、彼らは保守的な生活をしている。例として、アニメ文化・地場産業・特定のカルチャーを暮らしの中心とする人たちなどが挙げられる。また、車依存による歩くことに抵抗を覚えたライフスタイルが、地上に広がる楽しさや空間価値発見の機会を妨げ、人の行動パターンを狭めており、まちの変化・出来事に目が向けられていない状態である。

また商店街とは個性が根付く場所であるとともに、「歩く」という行為が日常的に行われ、その場所特有の色や暮らしがある。つまり、地域性と個別性がともに失われている徳島にもそのような場所が必要である。

3. 対象商店街について

対象地域である徳島市新町地区商店街エリアは、徳島駅から 1km 圏内に広がる徳島市唯一の商業地域であり、中心市街地でありながらも豊かな自然環境や地域資源（図 1）に囲まれ、大通りに面したアーケード街が特徴的な東新街商店街、籠屋町商店街、銀座商店街(図 2)をはじめとする多くの商店街が集積する地域である。

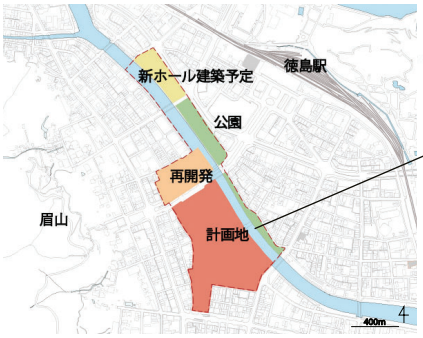

図 1:計画地と周辺情報

図 2:商店街の配置

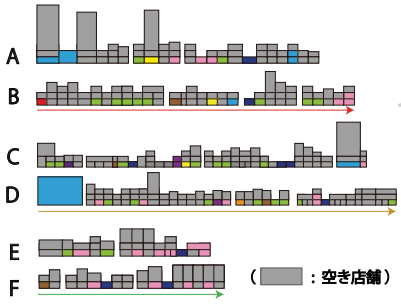

図 3:空き店舗が並ぶ商店街

図 4:衰退した現状

4. 計画案について

4-1 計画内容

図 5:全体パース

図 6:まちなかの舞台

本計画のコンセプトは「暮らせる商店街(まち)」である。商店街とは、まちの個性や色を形成し、人の生活の拠点や目

的地となる場所であるとともに、歩くことでの楽しさや価値を見出す場所である。ニッチな商業空間に住機能を導入し、「中心性」を持たせることで、低密度に横に広がる個性ある暮らしの場となり、目に見える暮らしが更なる個性を呼ぶことで賑わいが連鎖し広がっていく。

4-2「暮らしの舞台」の設計計画とビジョン

1 つ目に、低未利用地(＝空白)を活用し、部分的に拓くことでグランドレベルに触れる範囲を増やし、歩いて活動が広がる空間設計を行う。2 つ目に、商店街でのライフスタイルに価値を見出すニッチな層の人々が集い生活の一部を共有することで個性的な暮らしの拠点となる集合住宅と宿泊施設の設計を行う。よって、個性ある商業空間×住環境という空間自体に価値を創造するキャラクターが積極的にまちに入り込み商店街(まち)を色付け、全員が住み手・商い手であると同時に使い手として活性化していく。よって、多様な人々が自分らしさを表現する「暮らしの舞台」となることをビジョンとする。

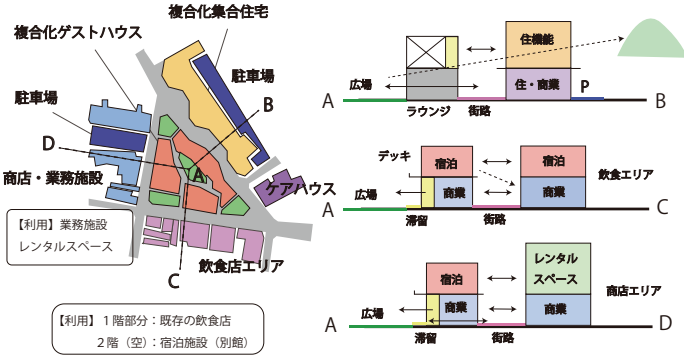

図 7:ゾーニング計画と周辺との繋がり

4-3 空間操作と街路空間･建築空間の再設計

本計画のメイン企画として「ひらいたまちづくり」を掲げている。「地域に開く」「空間を拓く」「文化価値を展く」によって空間価値の更新と活動の幅を広げる。

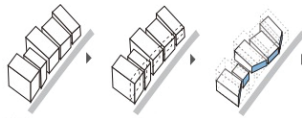

図 8:減築と増築

図 9:アーケード撤去と新たな屋根

図 10:中心から派生する賑わい空間

周辺の空き店舗にも派生し徐々に空白が埋まり賑わう。

5. 商店街の中心に集い繋がる空間デザイン

空間をひらき、商店街が集積する中心街区に「暮らしの舞台」をデザインする。中心市街地のシンボルとされているヤシの木を植え、ニッチな人々が各地から集い Face to Face で繋がる居場所となる。

図 11:複合化集合住宅のひらいた空間

図 12:住民が働く複合化ゲストハウス

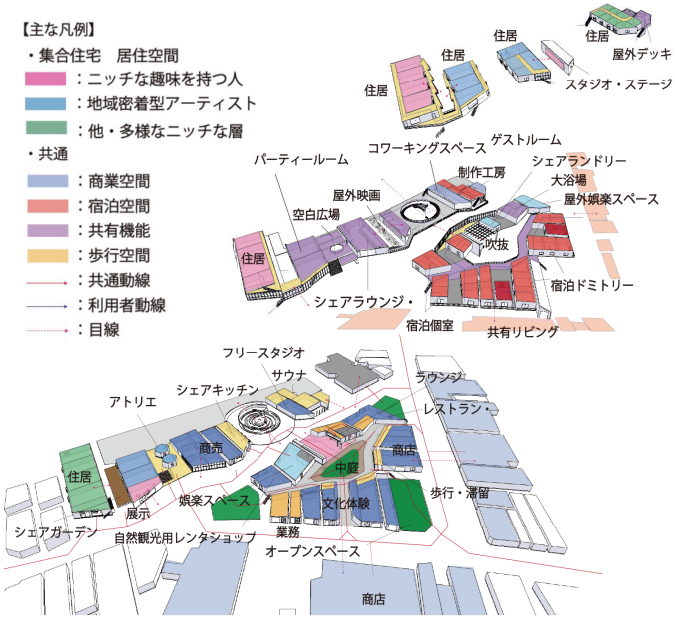

図 13:空間と人の繋がりを生む構成

注

1) 掲載:徳島市 HP「新町西地区第一種市街地再開発事業 事業計画書」https://www.city.tokushima.tokushima.jp/shisei/machi_keikaku/townplanning/saikaihatsu_suishin/index.files/jigyoukeikakusyo4kai.pdf

参考文献

1) ランドルフ・T・ヘスター、「エコロジカルデモクラシー」、pp23-53、第 1 章:Centeredness 中心性―センター

2) 丸山修平･平野勝也、(2018)「アーケードの有無が街路に与える影響 ―店舗群の情報発信形態に着目して―、『景観･デザイン研究講演集』、No14、pp322-327